

定期講座2018

対象:高校生以上

えひめと世界をつなぐ 日本語教育

受講料
無料

～日本語教師への道～

近年、日本に住む外国人の数は増加しています。

愛媛県でも在留外国人の数は年々増え続けており、2015年には1万人を超えました。

グローバル化が進み、多文化共生が求められている昨今、日本語を母国語としない

方々に教える「日本語教育」に注目が集まっています。

昨年に続き、愛媛大学×EPIIC(愛媛県国際交流協会)×JICAがタッグを組み、

愛媛と世界をつなぐ「日本語教育」について定期講座を開催します！



八幡浜市内で日本語を学習する技能実習生



益田市の小学校での日本語指導の一場面

第4回

日時 10/13(土) 13:00～16:30 場所 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージアム M24 定員 30名

『日本語学習支援が必要な子どもたちー島根県の様々な取り組みから学ぼう！ー』

講師 仙田 武司 氏 (しまね国際センター多文化共生推進課長)

第5回

日時 12/2(日) 13:00～16:30 場所 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージアム M24 定員 30名

『日本語教室を核とした技能実習生と地域のつながりづくり & 総括ーベトナム技能実習生を事例にー』

講師 二階堂 裕子 氏 (ノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科教授)

上記講座のほか
参加推奨事業

留学生日本語スピーチコンテスト
in 愛媛 2018(聴講)

日時 11/4(日) 13:00～16:00 場所 南海放送本町会館

青年海外協力隊・シニア海外ボランティアにご興味がある方

JICAボランティア 日時 10/20(土) 11:00～13:30
14:30～17:00
全国説明会キャラバン 場所 リジェール松山 シルバーホール

説明会への参加は予約が必要。詳しくは JICAボランティア 検索

第4回・第5回講座 申込方法

メールにて
お申し込みください。

宛先 nihongo@epic.or.jp

件名 定期講座2018「日本語教育」申込

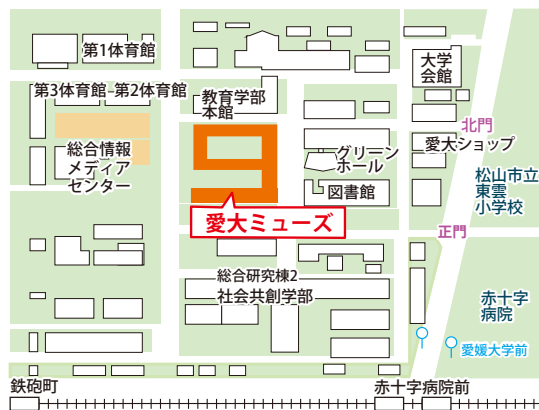
本文 ①名前 ②生年月日 ③所属(学校や勤務先など)
④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥参加講座(希望の講座の回を記入)

※参加が決定された方には⑤のメールアドレスに受付完了のお知らせが届きます。参加確認のメールが届かない場合は、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

申込締切日時 第4回 10/11(木) 16:00 第5回 11/29(木) 16:00

【注意事項】・ご記入いただいた個人情報は、本講座に係る事務手続きおよび希望者へのイベント案内以外には使用いたしません。・当日、新聞やテレビ等の取材が入る場合があります。また、当日撮影した写真をJICA四国等のホームページや機関誌、広報資料等に掲載する場合がありますので、ご了承ください。掲載に支障のある方は、担当までお知らせください。

第4回・第5回講座 会場マップ(愛媛大学構内マップ)



愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージアム M24
松山市文京町3

問い合わせ先 (公財)愛媛県国際交流協会 089-917-5678(担当:伊藤)

主催:愛媛大学国際連携推進機構/(公財)愛媛県国際交流協会/(独)国際協力機構 四国センター(JICA四国) 後援:愛媛県教育委員会(第4回のみ)

第4回

10/13(土) 13:00~16:30 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージアム M24 定員:30名

日本語学習支援が必要な子どもたち - 島根県の様々な取り組みから学ぼう! -

近隣の島根県の取り組みや活動事例を紹介し、共通課題や本県に活かせる工夫を学びます。参加者間の情報交換や交流を図りながら、ネットワークづくりにも役立てましょう!

講座内容

- ① 子どもの日本語支援(愛媛県)
- ② 子どもの日本語支援 その1(島根県/行政や協会の取り組み)
- ③ 子どもの日本語支援 その2(島根県/地域や学校の取り組み)
- ④ さまざまな側面から支援について考えよう!

※この講座ではいくつかのグループワークをします。適宜休憩を入れます。



しまね国際センター主催
ボランティア養成講座の一コマ



外国にルーツをもつ
子どもの指導・支援
リーフレット



小学5年生社会科の授業の様子



講師

しまね国際センター
多文化共生推進課長

仙田 武司 氏

(せんた たけし)

1994年、民間の日本語教員養成課程を修了。
1995~2008年、しまね国際センターにて同じ地域
に暮らす外国人と日本人が互いに学び合い理解し
合える場としての日本語教室の整備などに携わる。
2009~2012年、文化庁国語課日本語教育専門職。
2013年より、現職。

第5回

12/2(日) 13:00~16:30 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージアム M24 定員:30名

日本語教室を核とした技能実習生と地域のつながりづくり & 総括 - ベトナム技能実習生を事例に -

労働力不足が深刻となる今日、日本では外国人労働者の増加が続いており、なかでも、「技能実習生」と呼ばれる中国や東南アジア出身の人々が急増しています。短期滞在(最大で5年間)の彼・彼女らが日本語を学ぶことにはどのような意義があるのでしょうか。本講義では、ベトナム人技能実習生を事例として取り上げ、地域社会とのつながりづくりの可能性について考えます。

講座内容

- ① 外国人技能実習制度とは
- ② 技能実習生の送り出し国の状況
- ③ 技能実習生にとっての日本語習得
- ④ 日本語学習の現場
- ⑤ 日本語学習活動の意義

※この講座ではいくつかのグループワークをします。適宜休憩を入れます。



経済発展の著しい
ベトナムのホーチミン市



来日前に日本語学校で学ぶ
ベトナムの若者たち



静岡県内のカトリック教会で
行われている日本語教室



講師

ノートルダム清心女子大学
文学部現代社会学科教授

二階堂 裕子 氏

(にかいどう ゆうこ)

特に、外国人技能実習生を中心とした地域社会の
関わり等について、研究している。2012年からは、
外国人技能実習生を受け入れている企業への
聞き取り調査や、外国人技能実習生の就労状況や
日本語支援の取り組み等に関するデータを収集し、
そこで生じる課題や関係構築の在り方について
提示している。

前回の参加者の声

「こんな教材を使えば効率的
かも」等と考えるヒントを得
ることができました。

「外国にルーツのある子ども」
の日本語支援をしてみたいと
感じるようになりました。

トルコ語の直説法の
実演がとても興味深
かったです!

勉強になりました。少し
でも何かとサポートが
できればうれしいです。

将来の参考に
になりました。